

淀川
水系

●川上ダム建設所（三重県）
ダム本体工事起工式の開催と基礎掘削の開始

川上ダムではダム本体の基礎掘削に先立ち、9月2日、川上ダム建設事業にご協力いただいている皆様、関係者の皆様をお招きして、川上ダム本体工事起工式を開催しました。式典では、川上ダム建設事業の経過報告、来賓によるご挨拶のあと、川上ダム左岸ダムサイト天端において、ダム本体工事の安全と順調な事業の進捗を祈念して、鍬入れ、万歳三唱及びくす玉開披を行い、ダム本体工事の起工をお祝しました。

これを受け、9月5日、快晴のもと、ダムの土台となる岩盤を露出させるための基礎掘削を開始しました。川上ダム建設所では、平成34年度のダム完成に向けて、安全第一に事務所一丸となって事業を進めてまいります。



起工式(鍬入れ)



基礎掘削

環境保全特別研修を今年度も実施しました!(7/23~27)

水資源機構では、環境保全に精通した人材を育成し、事業での環境保全の取組に活かすことを目的とした、環境保全特別研修を毎年度実施しています。

この研修は、環境保全の考え方、保全対策事例等を学ぶ講義、野外実習等から構成され、実習では学識経験者等を講師として、群馬県片品村で地元の県立尾瀬高等学校自然環境科の生徒の皆さんとともに植物や昆虫類、哺乳類等に関する実践的な調査実習と調査結果の評価演習を行いました。

研修の内容は、「非常に高度で充実している」との評価をいただいております。自社員を環境人材に育成する取組を行う企業を表彰する環境省等主催の「環境 人づくり企業大賞」奨励賞を2年連続(2016、17)で受賞した選考理由の一つとなっています。



生物多様性に係る講義の受講



野外実習(捕獲した水生生物の確認作業)

JWA国際どっとねっと

水資源機構の国際業務を紹介

インドのダム管理実務者の方が水資源機構を訪問

8/27~30、世界銀行ダム安全リハビリテーションプロジェクトの関係者であるインド国中央水委員会設計部長シヴァラジャン氏以下7名が、地震発生後のダム安全管理について理解を深めるため、水資源機構を訪問されました。インド南部のケララ州においては、今年の5月以降に発生した記録的なモンスーンの影響で、多くの方が被害を受けており、惨状などについてお話をいただきました。また、意見交換や、滝沢ダムと浦山ダムでの現地説明などを行い、インドの方々からは、「ダムの統合管理とダム下流の状況を考慮した操作の重要性を認識できた。」などの感想をいただきました。

機構は、平成27年度から世界銀行よりダム管理能力向上プロジェクトを受託しており、平成29年度は、インド北部のマイソンドムのダム安全管理についてマニュアルを作成し、現地での訓練も行いました。国内にとどまらず、世界各地の水問題の改善に貢献できることは、私たちの糧になっています。



世界銀行ダム安全向上プロジェクトによるインド国中央水委員会ほかの機構訪問の様子



IWA 世界会議・展示会 2018 参加報告

9/16~21、国際水協会(IWA)主催のIWA世界会議・展示会2018が東京ビッグサイトで開催され、約100の国と地域から約10,000人が参加しました。

水資源機構は、開催国委員会のメンバーの一員であると共に、国土交通省水管理・国土保全局水資源部より受託した「平成30年度 海外における統合水資源管理推進方策検討業務」の「国際機関等への情報発信」の一環で会議に参加し、統合水資源管理(IWRM)を推進する国際機関等との知見や経験の共有と連携強化を目的として情報収集・発信を行いました。さらに、会議の最終日にはテクニカルツアーとして、水資源機構の管理する秋ヶ瀬取水堰(埼玉県志木市)の現地視察が行われました。



開会式



テクニカルツアー(秋ヶ瀬取水堰)

荒川
水系

●荒川ダム総合管理所(埼玉県)
「進撃の浦山ダム~第八章~」

10月21日、爽やかな秋空のもと、浦山ダムにおいて今や恒例の「進撃の浦山ダム~第八章~」が開催されました。60台の痛車が堤体に並び、コスプレイヤー約60名が参加する中、約1,000名の来場者がありました。会場では、コスプレイヤーや来場者がダム湖や痛車をバックに撮影したり、アニソンタイムで盛り上がり、大いに賑わいました。今回のイベントに合わせ、浦山ダム内部見学会を午前と午後に開催し、浦山ダムをより深く知っていただく良い機会となりました。

